



鳳凰三山②

2017年7月28日（金）～29日（土）

Report by 堀

7月29日（土）夜明け前、雨の音がしている。4時起床。外に出てみると雨は小降りになっている。（雨具を着て汗に濡れるか、傘で済ませて雨に濡れるか）どちらもあまりうれしくない選択だが、吉松さんと根岸さんは前者、つまり汗に濡れることを選択し、レインスーツとスパッツを用意。堀は後者、雨に濡れる方を選択した。（本当は「面倒だ」とズボラをかませただけだが）



朝食を済ませ、5時35分
小屋の前で出発写真を撮ったが、今回、全員集合の写真はこれが初めてだ。



南御室小屋 (2440m) の周囲
には、山の花が多い。
クルマユリ



キバナヤマオダマキ



テガタチドリ

昨日の登山道では全く見る
ことのなかった花々だ。



雨の中、傘をさして薬師岳への登りに掛かる。



こちら雨具派
どちらが勝つのか？



出発して 50 分、雨は上がって薄日が漏れる。



前半は傘派（別名ズボラ派）
の勝ちか？



砂払岳の手前は岩場になっ
ている。



岩の割れ目などにタカネビ
ランジが咲いている。今回、
一番多く目にした花だ。



こちらはハクサンシャクナゲ



砂払岳

いよいよ薬師岳も間近だ！



7:10 薬師小屋を通過。建て替え中で営業していない。





ツマトリソウ
本来はフチがピンクなのだが、縁取りのないコツマトリソウか？



おなじみのゴゼンタチバナ



ハイマツ
マツボックリ？が赤い



7:17 薬師岳 (2780m) 山頂
早立ちしたので予定より約30分早い。ペースは計画通りだ。しかし、何も見えませんねえ。

先週、仙丈ヶ岳からは鳳凰三山がよく見えたようで…熊本さん撮影の写真↓



2017・7・22 の鳳凰三山



薬師岳から岩や砂礫の尾根筋を暫く行くと観音岳に至る。



8:00 鳳凰三山の最高峰、観音岳（2840m）に到達。
ガスで何も見えないが、シャッターをお願いして証拠写真を残す。
ここから 3 つ目のピーク地藏岳（2764m）に向かう。



2012 年にもあった印象的な樹形の松。しっかり生き残っていた。



こちらはダケカンバ。
いずれも長年風雪に耐えてきたことが樹形にあらわれている。

赤抜沢ノ頭から賽の河原へ下るあたりは花の種類が多い。



タイツリオウギ



ハクサンシャクナゲ
(白花)



タカネビランジとウスユキソウ



？



タカネグンナイフウロ



ガスが薄れたとき、地藏岳のオベリスクが現れた。



9:55 賽の河原に到着。



川島さんから返納を頼まれた預かり物、賽の河原の石である。あれから5年。「古里」から根岸さんが大事に持ってきてくれました。(いや～重かったこと！)



お賽銭を供えて鄭重にお返ししましたよ。



代参を済ませて肩の重荷？もなくなり、オベリスクの直下まで往復。



賽の河原に戻り、鳳凰小屋に向かって下降開始。

富士山の砂走りのような、砂状の斜面を下る。前回、ここを登ったときは一歩登るとズルッと半歩下がってしまい何とも歩きにくいところだったが、今回は下りなのでラクチンだ。



11:00 鳳凰小屋に到着。早立ちしたのに、当初の予定時間になってしまった。

ここで昼食の予定であるが、なんということか！鳳凰小屋は昼食はやっていないとのこと。私の手落ちです。申し訳ない。手持ちの食料で適当に済ませることに。

少し前から雨が本降りになってきた。

青木鉱泉への下りは、ドンドコ沢という谷間の道だ。雨の中、谷筋を下るよりも尾根道を御座石温泉に下る方がいいのではないかな？

小屋オーナーの細田さんに聞くと、御座石コースの方が良いとのこと。よって、予定を

変更して御座石に下ることにする。



下る途中で見られた花々
雨でレンズが曇って・・・



センジュガンピ



フシグロセンノウ



ノリウツギ



キツリフネ



ヤマユリ



レンゲショウマ？



15:30 御座石温泉に到着。

濡れ物を片付け、直ぐに入浴。しかし、浴槽は10枚ほどの板で蓋がしてあり、板を除けながら“湯もみ”、更に熱すぎるのでバケツで水を数杯！ここは温泉とか言っても沸かし湯です。

風呂上りにビールで乾杯！
そして食べ損なった昼食に蕎麦を注文。

宿に到着したときに入浴料と韭崎までのバス代を払ったのだが、宿のばあさんとお主人（息子）が、同じ料金で車で送るからと言うので、そうすることにした。

＊この話、2007 年に熊本さん、鵜飼さん、竹内さん、高橋（雄）さんが行った時とほぼ同じで、切符販売をこの宿に委託しているバス会社は知らないのだろうか？

<http://www.shopwanta.com/kumasan/2007nen/0721houou/houou21.htm>



桃や漬物、揚句は山のもろもろ漬け込んだ焼酎（例えばスズメバチ）をサービスしてくれる。（そして車で送る話を切り出す。営業スタイルが確立しているな）



韮崎駅まで送ってもらい、18:23（発）のあずさ 30 号自由席で残った酒を飲んで、八王子 19:49 横浜線経由で各人無事に帰宅した。

スタートでトラブルあり、白峰三山もみることが出来ず、雨に祟られコース変更を余儀なくされましたが、全員無事に帰着できたことで良しとしましょう。
（完）